

専門基礎科目(専攻共通科目)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM001	プロジェクト演習I	2	1.0	1	通年	応談		国際日本研究専攻全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトを指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、そのプロポーザルを発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究、主要な素材を提示するとともに、今後の原著的な研究のための研究計画を提示する。	
02DM002	プロジェクト演習II	2	1.0	2	通年	応談		国際日本研究専攻全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトの中間報告を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究と自らの議論との違いと共通点、主要な素材の分析を提示するとともに、今後の原著的な研究のための執筆計画を提示する。	
02DM003	プロジェクト演習III	2	1.0	3	通年	応談		国際日本研究専攻全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	

基礎科目(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM004	現代日本研究の方法	4	1.0	1・2	春C	集中		国際日本研究専攻全教員	この講義では、現代日本の研究をするための基礎的方法論・問題の設定方法(視点)を学ぶ。	H23年度以降入学者要望があれば英語で授業

専門科目(国際比較研究領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM108	比較日本社会IIB	2	1.0	1・2	春AB	火2	人社A205	柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。	西暦奇数年度開講。02DME32、02DMQ41と同一。
02DM111	比較日本経済IIA	2	1.0	1・2	春AB	水1	人社A201	田中 洋子	工業化・資本主義化・経済発展の歴史的プロセスと、それを支える労働をはじめとする社会経済システムの関係のあり方について、日本と諸外国との国際比較を通じて検討する。	西暦奇数年度開講。02DMP03と同一。
02DM112	比較日本経済IIB	2	1.0	1・2					各国の労働システムをはじめとする社会経済体制について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	西暦奇数年度開講。02DMP04と同一。2019年度開講せず。
02DM115	比較日本文化IIA	2	1.0	1・2	春AB	水6	人社A202	石塚 修	受講生の研究関心のあることがらについて発表形式でおこなう。	西暦奇数年度開講。02DMS09と同一。
02DM116	比較日本文化IIB	2	1.0	1・2	秋AB	水6	人社A202	石塚 修	日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。02DMS10と同一。
02DM124	比較東洋思想IIB	2	1.0	1・2	秋AB	木4	人社A207	佐藤 貢悦	湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。02DML02、02DMR01と同一。
02DM127	比較日本文学IIA	0	1.0	1・2	春AB	応談		平石 典子	比較文学の手法を用いて、日本近代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DM128	比較日本文学IIB	0	1.0	1・2	秋AB	応談		平石 典子	比較文学の手法を用いて、日本現代文学の分析、考察を行う。	「英」西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DM141	比較東洋思想IIA	2	1.0	1 - 3					日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DMK02、02DMR02と同一。2019年度開講せず。

専門科目(国際交流領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM211	情報メディア交流IIA	1	1.0	1・2	春AB	火6	共同A604	海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会科学および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。02DMM08、02DMT09と同一。
02DM212	情報メディア交流IIB	1	1.0	1・2	秋AB	火6		海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会科学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。02DMM10、02DMT10と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM217	ユーラシア交流IIA	1	1.0	1・2	秋AB	応談	8A405	ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of two Japanese foreign policy initiatives –Silk Road Diplomacy and Central Asia plus Japan – and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「シルクロード外交」や「中央アジアプラス日本」のイニシアティブに重点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DME53、02DMQ15と同一。 英語で授業。
02DM218	ユーラシア交流IIB	1	1.0	1・2	秋AB	応談	8A405	ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives – Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization – and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に重点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DME54、02DMQ16と同一。 英語で授業。
02DM221	国際人的移動・交流IIA	0	1.0	1・2	春AB	応談		明石 純一	国際人口移動に関して理論と実証の両面から学術的検討を試みる。おもに、この分野における主要基本文献の精読と解説をおこなう。	西暦奇数年度開講。
02DM222	国際人的移動・交流IIB	0	1.0	1・2	春C	応談		明石 純一	国境を越える人の移動に関する時事問題についての議論をおこなう。	西暦奇数年度開講。
02DM227	国際情報社会論A	0	1.0	1・2	春AB	応談		川崎 レスリー タック	The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
02DM228	国際情報社会論B	0	1.0	1・2	春AB	応談		川崎 レスリー タック	The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
02DM231	ユーラシア世界史IIA	0	1.0	1・2	春AB	応談		塩谷 哲史	This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
02DM232	ユーラシア世界史IIB	0	1.0	1・2	秋AB	応談		塩谷 哲史	This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。

専門科目(日本語教育領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM301	日本語教育学IA	0	1.0	1・2					日本語を中心に有効なコミュニケーションの方法および論文作成について、語用論の観点から講義を行い、参加者とともに分析・調査方法を行う。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM305	日本語教育学I11A	0	1.0	1・2	春AB	応談		木戸 光子	文章構造研究が日本語教育にどのように貢献できるかという点から文章論の理論や方法について検討する。	西暦奇数年度開講。 2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW17 言語表現研究演習1A(春AB水2時限)」を参照すること。受講希望者は授業初日までに担当教員に必ず連絡すること。
02DM306	日本語教育学I11B	0	1.0	1・2	秋AB	応談		木戸 光子	文章構造研究が日本語教育にどのように貢献できるかという点から文章論の理論や方法について検討する。	西暦奇数年度開講。 2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW18 言語表現研究演習1B(秋AB水2時限)」を参照すること。受講希望者は授業初日までに担当教員に必ず連絡すること。
02DM309	日本語教育学VA	0	1.0	1・2	春AB	応談		ブッシュネル ケード コラン	第2言語学習に関する社会文化的なアプローチを概観しながら、社会文化的な観点を取り入れたリサーチプロジェクトを計画し、完成させる。	西暦奇数年度開講。
02DM310	日本語教育学VB	0	1.0	1・2	秋AB	応談		ブッシュネル ケード コラン	会話分析・成員カテゴリー分析の演習を行うことによって、会話分析や成員カテゴリー分析に関する知識を増やししながら、分析技能の向上を狙う。	西暦奇数年度開講。

専門科目(領域共通)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM411	グローバル・アジアと日本I	1	1.0	1-3	秋AB	水5		潘 亮	日本とアジアのかかわりの歴史的経験、アジア太平洋協力の現状と課題、将来展望としての「アジア共同体」の道筋と日本の役割等について、学外の専門家、実務家による講義と討論により、知見と理解を深める。(寄付講座として開設)	詳細後日周知。 西暦奇数年度開講。

演習科目(国際比較研究領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM157	比較日本社会演習I1A	2	1.0	1-3	秋AB	火2	人社A205	柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。	西暦奇数年度開講。 02DMK09、02DMP09と同一。
02DM158	比較日本社会演習I1B	0	1.0	1-3	秋AB	応談		柴田 政子	第二次世界大戦後の歴史教育について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。	西暦奇数年度開講。
02DM162	比較日本経済演習I1B	2	1.0	1-3	春AB	応談		田中 洋子	各国の経済発展とそれを支える社会経済的基盤の形成と変容について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	教室:人社A708 西暦奇数年度開講。 02DME19、02DMQ20と同一。
02DM165	比較日本文化演習I1A	0	1.0	1-3	春AB	応談		石塚 修	日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。
02DM166	比較日本文化演習I1B	0	1.0	1-3	秋AB	応談		石塚 修	日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。
02DM173	比較東洋思想演習I1A	0	1.0	1-3	春AB	木5	共同A601-2	佐藤 貢悦	日中韓の比較文化論に関する文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
02DM174	比較東洋思想演習I1B	0	1.0	1-3	秋AB	木5		佐藤 貢悦	日中韓の比較文化論に関する文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
02DM175	比較日本文学演習IA	0	1.0	1-3					比較文学・文化の手法を用いて、受講者がそれぞれテーマを設定し、口頭発表とディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。
02DM176	比較日本文学演習IB	2	1.0	1-3						西暦偶数年度開講。
02DM177	比較日本文学演習I1A	2	1.0	1-3	春AB	火4	共同A601-1	平石 典子	日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。 02DMN07、02DMS01と同一。
02DM178	比較日本文学演習I1B	2	1.0	1-3	秋AB	火4		平石 典子	比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。 02DMS02と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM191	比較日本経済演習IIA	2	1.0	1					参加者の具体的な論文指導を通じて、工業化・経済発展過程と、それを支える社会経済システムの関係について、日本と諸外国との国際比較を通じて考察する。	02DME18、02DMQ19と同一。 2019年度開講せず。

演習科目(国際交流領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM253	国際外交関係演習IIA	0	1.0	1-3	秋AB	月2		潘亮	本演習においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。本演習を受講するには、「国際外交関係演習IIB」も同時に受講する必要がある。	西暦奇数年度開講。
02DM254	国際外交関係演習IIB	0	1.0	1-3	秋AB	月3		潘亮	本演習においては現代日本の対外政策の形成に関する最新の研究成果を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する研究の方法論について議論する。本演習を受講するには、「国際外交関係演習IIA」も同時に受講する必要がある。	西暦奇数年度開講。
02DM267	ユーラシア交流演習IIA	0	1.0	1-3	秋AB	月1		ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
02DM268	ユーラシア交流演習IIB	0	1.0	1-3	秋AB	月2		ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese involvement and recent developments in Eurasian Community construction in post-Soviet Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、新しいユーラシア共同体構築の試みと日本のかかわりを分析する。	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
02DM271	国際人的移動・交流演習IIA	2	1.0	1-3	春AB	木3	人社A207	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。 02DMK14、02DMP11と同一。
02DM272	国際人的移動・交流演習IIB	2	1.0	1-3	秋AB	木3	人社A207	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。 02DME34、02DMQ03と同一。
02DM281	ユーラシア世界史演習IIA	2	1.0	1-3	春AB	応談		塩谷 哲史	中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DME59、02DMQ09と同一。
02DM282	ユーラシア世界史演習IIB	2	1.0	1-3	秋AB	応談		塩谷 哲史	中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DME60、02DMQ10と同一。

演習科目(日本語教育領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM351	日本語教育学演習IA	0	1.0	1-3	春AB	応談		小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	西暦奇数年度開講。
02DM352	日本語教育学演習IB	0	1.0	1-3	秋AB	応談		小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。	西暦奇数年度開講。
02DM361	日本語教育学演習VIA	0	1.0	1-3	春AB	応談			日本語教育学に関する文献講読と課題研究。	西暦奇数年度開講。
02DM362	日本語教育学演習VIB	0	1.0	1-3	秋AB	応談			日本語教育学に関する文献講読と課題研究。	西暦奇数年度開講。
02DM369	日本語教育学プログラム演習IA	0	1.0	1-3					日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 2017年度より2年おき開講。
02DM370	日本語教育学プログラム演習IB	0	1.0	1-3					日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 2017年度より2年おき開講。
02DM371	日本語教育学プログラム演習IIA	0	1.0	1-3					学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	2018年度より2年おき開講。
02DM372	日本語教育学プログラム演習IIB	0	1.0	1-3	秋AB	応談		国際日本研究専攻日本語教育領域全教員	大学院生が、各自の研究発表を行う。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM373	日本語教育学プログラム演習111A	0	1.0	1 - 3	春AB	集中		国際日本研究専攻日本語教育領域全教員, 小野 正樹	学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	2019年度より2年おき開講。
02DM374	日本語教育学プログラム演習111B	0	1.0	1 - 3	秋AB	集中		小野 正樹, 国際日本研究専攻日本語教育領域全教員	大学院生が、各自の研究発表を行う。	2019年度より2年おき開講。 主専攻必修科目。